

2024年11月 | Vol.30

# AJWCEF

## NEWS LETTER ニュースレター



**オーストラリア日本野生動物保護教育財団会員  
及びご支援を頂いております皆様へ**

オーストラリア日本野生動物保護教育財団  
理事長 水野 哲男

皆様におかれましては、平素よりオーストラリア日本野生動物保護教育財団（AJWCEF）の活動にご理解とご支援を賜り誠に有難うございます。

地球の気候変動が議論され始めて久しくなります。その間、国連をはじめ様々な会議で気候変動の重要な原因の一つとされる世界の国々での二酸化炭素を中心とする温室効果ガスの排せ量の削減が話し合われてきました。しかし、その成果は乏しく、2023年は世界の多くの国で平均気温が過去最高を更新しましたが、2024年はそれをも超える気温となると予想されています。

そして世界では、暴風雨に起因する洪水や土砂崩れなどの自然災害が多発し、多くの方が犠牲になりました。国連の世界気象機関（WMO）は、2023年にアジアは気候関連の災害により世界で最も被害を受けた地域であり、豪雨や洪水によって最も多くの死者数を出したと報告しております。2024年の集計はまだ出ておりませんが、おそらく2023年と類似した結果になると思われます。

その様な状況下で、先日国連気候変動枠組条約会議 COP29が開催され、主に温室効果ガスの削減目標、気候変動への様々な対策などに伴う気候資金、温室効果ガス排出量を国際的に移転する市場メカニズムの構築（パリ協定6条）について議論が交わされました。結果は、パリ協定の締約国は発展途上国の気候変動対策の為、毎年3,000億米ドルを拠出することが合意されました。しかし、この合意に対し、途上国の多くは金額が十分ではないとして、会議を退席するなどの混乱が起きました。この背景には各国、特に先進国の経済的負担の回避が透けて見え、この地球環境の危機的な状況においても経済を優先しようとする人間の際限のない欲望を感じ、非常に落胆しました。

しかし、AJWCEFは少しでもより良い地球環境を次世代へ残していくため、これからも「人と自然のより良い共生」を目指し活動してまいります。どうか皆様の末永いご支援をお願い申し上げます。

● 2025年期 春期トレーニングコース開催日のお知らせ (基礎 / 臨床 コース) ●

第1回 野生動物保護 基礎トレーニングコース	2月25日(火)-3月7日(金)
第2回 野生動物保護 臨床 トレーニングコース	3月23日(日)-3月31日(金)

次回の開催は2025年夏期(8/9月)、募集開始は5月から予定しています。

詳しくはHPまで <https://ajwcef.org/> お問い合わせはこちらまで: [training@ajwcef.org](mailto:training@ajwcef.org)

## 応用トレーニングコース体験記

2024年8月13日-21日

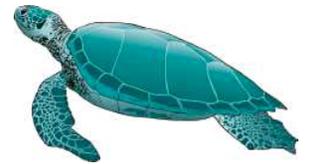
前回は臨床コースに参加し陸に住む哺乳類や爬虫類などを中心に勉強したが、今回は海洋哺乳類について学ぶことができた。特にクイーンズランド大学の海洋研究センターでの活動では、海洋に広がるプラスチックゴミにより被害を受けている動物について学んだことが印象的だった。プラスチックゴミを大量に飲み込んで餓死した海鳥やウミガメについての講義や映像はとても衝撃的であり、自分の普段の生活を見直すきっかけになった。オーストラリアでプラスチックゴミを減らすための活動が進んでいることを講義で知り、実際に現地で生活してみてそれを実感することができた。例えばスーパーで購入できる水のタンクがプラスチック性の容器からダンボール性なものに変わっていたり、スーパーでビニール袋の代わりに紙袋やエコバッグを売っていたり、カトラリーが木製のものであったりと、日本よりもプラスチック削減の動きが大々的に進んでいると感じた。プラスチックゴミの問題は世界的な問題であり、この問題について解決に向かうには情報が十分に普及していないと考えるため、今回のツアーをきっかけに自分が少しでも情報の発信者になることができると感じた。

A.T. (帯広畜産大学 畜産学部共同獣医学科5年)





## 白石万結さん 大阪公立大学 獣医学部3年



3月に参加した基礎コースに続いて、  
今回応用コースに参加させていただきました。

North Stradbroke Islandでは、興味はあったけれど詳しく知る機会のなかった海洋生物についての講義を受け、活動できたことで、海の世界をより魅力的に感じるようになりました。同時に海洋ごみを含み人間の活動が生物へ与えている影響についても対処しなければならない問題として、より重く受け止めるようになりました。野生のコアラやカンガルーを多く見ることができ、クジラやイルカの姿も確認できて、とても貴重な経験だと感じました。WRREAでは、1人で大きな施設を運営し、数多くの赤ちゃんの授乳なども、それぞれの時間に合わせて行っているという事実に驚きました。そして、野生動物を野生に戻すことができるようにするためのケアをするという事の難しさも感じました。カランビン野生動物病院での実習では、基礎コースと比べ実践的な体験ができたと感じました。普段油で汚れてしまった鳥や強制給餌が必要な鳥に出会う事はあまりないけれど、実習を通して間接的にその存在を感じる事ができました。UQの見学やフリーデイなどを通して、日本との違いを感じ、どちらが良いというわけではないけれど、一つ視点が増えたような気がしています。貴重な機会をいただけてありがとうございました。





# 基礎トレーニングコース体験記

2024年8月26日-9月5日



カトウさん 酪農学園大学農食環境学群環境共生学類

このトレーニングコースの中で最も印象に残っているのは、RSPCAで野生動物を守ろうとする取り組みです。日本とオーストラリアでは、野生動物に対する考え方が大きく異なっていると感じました。オーストラリアは日本よりも、人間と動物が「共生する」という考えが強く、それに対して積極的に動いている国民が多いのだらうと思いました。それはRSPCAでの取り組みだけでなく、デービッドフレイでのレンジャーさんの動物に対する愛や、カランビンでのどんな野生動物でも受け入れようとする姿勢など、トレーニングコースの様々な体験を通して感じる事ができました。日本の野生動物に対する考え方もあるけど、新しい考え方を知ることができてよかったです。日本だけ、というような狭い視野ではなく、広い視野をもって物事を進めていくと新しい発見ができると実感した濃い、濃い、最高の貴重な1週間でした!!

(一部抜粋)

M.W. 岡山理科大学獣医学部

この研修で一番良かったことは普段交流がない他大学の人たちと交流が持てたことです。同じ目標を目指す友人、努力家な友人、英語に堪能な友人など刺激を全員から受けました。大学4年生になって勉強を「こなす」という感覚になっていましたが、新しい友人に会う事で今までの自分を反省し、獣医学に対する自分の姿勢を改める良い機会になりました。

佐々木 七海さん 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科

宿泊施設からショッピングモールや実習施設などへのアクセスが良く、安心して生活できました。また、コアラの解剖やカヤック体験など貴重な体験ができてとてもうれしかったです。海外で活躍されるスタッフの方々を見て、海外で働くことのイメージがわき、選択指示入れてみたいと思えました。質問に丁寧に答えてくださり、とても勉強になりました。ありあとうございました!!



AJWCEF で検索

フォローお願いします!!!



今回、私は初めて野生動物に関して学ぶことができるプログラムに参加した。自分の興味ははっきりとしていても将来の仕事像がまだ具体的には決まっていなかった私にとって、このようなプログラムの存在は具体的な仕事像を描くにあたり重要なステップとなり、とても有難いと感じる。私が今回のプログラムの中で特に強く印象に残ったのは、日本とオーストラリアにおける野生動物と人との関わり方の違いについてである。基本的に日本における野生動物と人間の「共生」と言うのは人が野生動物の生息環境を侵食しないことであると同時に野生動物が人の世界に入ってくることもタブー視されていると感じる。これに対してオーストラリアにおける「共生」は、互いにゆるい境界線を引きつつもあくまでも人間が自然の一部を使わせて頂いているという意識を忘れないことにその特徴がある。日本における注意書きや標識に野生動物が悪者のように描かれていることが多々あるように、人と野生動物の交わりに否定的なイメージがある日本に育った者として、今回のようなプログラムの存在は人生における価値観に大きく影響するものであり、本当に良い刺激となったと感じる。このような機会を下さった水野先生を始め、私たちの学びを支えて下さった全ての方々に感謝すると共に、これからの人生の大きな糧とできるように努力していこうと思う。



10日間で、David Fleay Wildlife Park、RSPCA、Currumbin Wildlife Sanctuaryの3箇所を訪問させていただきました。オーストラリアは比較的治安が良く、さらにアクティビティの時は常にスタッフの方が同行して適宜通訳もしてくださるので、安心して参加することができました。英語ができる方も、自分で会話できる場面は沢山あるので、英語力を向上させたり専門用語を学んだりすることができると思います。大学や、学科学年の異なる人と共に過ごすことも良い刺激になりました。自由行動できる日もあり、オーストラリアの文化に触れることや、海外でしかできない挑戦をすることもできたと思います。実習では、講義以外にもレンジャーさんと一緒に動物のお世話を体験したり、環境エンリッチメントに考慮して飼育スペースをデザインしたり、実践を通して学ぶ機会や質問できる機会も多く、深く学ぶことができました。特に、オーストラリアの方々の動物への向き合い方が強く印象に残っています。動物を人の財産にするのではなく生態系の一部として捉えていることや、RSPCAが96%寄付で成り立っていることに感銘を受けました。日本から遠く離れた場所に、動物に対して熱意を持った方々が沢山いらして、動物と人の共生をきちんと成し遂げられていることに大きな喜びや希望を感じられました。また、水野先生が定期的にくださったお話がどれも印象深いです。ずっとオーストラリアの方々の価値観が気になっていたもので、日本では「隔離」、オーストラリアでは「共生」の考え方をしていることを学び納得できました。そして、見聞きしたことを受け止めてそこから自分で発展して考える力を養えるよう、普段から心も頭もフル稼働させて周りの些細なことと向き合っていきたいと思います。AJWCEFの職員さんも、現地で出会った方も、今回関わってくださった全ての方がとても温かく英語が流暢でない私達に丁寧に説明してくださりこの機会をいただけたことに本当に感謝いたします。

獣医学科低学年



## AJWCEF活動報告

(2024年6月から11月末まで)

## オンラインセミナー講座

- 4月-6月 北里大学 オンライン専門英語講座 (渡航前研修) 全10回  
 5月-9月 仙台 ECO 動物海洋専門学校 前期(全8回)  
 11月- 仙台 ECO 動物海洋専門学校 後期(全8回)  
 10月28日 TCA東京ECO動物海洋専門学校・特別講義 「オーストラリアと野生動物保護」



**特別実習見学会** オーストラリア カランビン野生動物専門病院主催  
 (教員・教育関係者様対象) 11月8日-15日 「オンライン診療参加型臨床実習」 見学会

## トレーニングコース

- 8月4日-12日 北里大学様 獣医学科 オーストラリア臨床研修  
 8月13日-21日 AJWCEF野生動物保護救護 応用トレーニングコース  
 8月26日-9月5日 AJWCEF野生動物保護救護 基礎トレーニングコース



## スタディーツアー

- 7月25日-31日 大阪府 某公立高校様 オーストラリア語学&サイエンス研修  
 7月27日-8月4日 岐阜県可児市 可児っ子訪問団オーストラリア研修  
 7月29日 東京都 某私立高校様 現地大学訪問&AJWCEFセミナー  
 8月19日-26日 日本獣医生命科学大学様 オーストラリアスタディーツアー  
 9月7日-18日 岐阜医療科学大学 GUMS オーストラリア語学&看護実習  
 9月24・25日 YIC京都ペット総合専門学校 動物施設訪問&研修



Wildlife Rescue, Rehabilitation and Education Association \$2000  
 UniSC | University of the Sunshine Coast \$200  
 UQ | The University Of Queensland \$300

寄付

## 英文記事翻訳ボランティア募集中

AJWCEFでは啓発活動の一つとして、オーストラリアにおける野生動物保護活動や環境問題に関する情報を日本の皆様にお届けするために、当地にて発信されているニュースを日本語へと翻訳をしてホームページのブログへと記載しています。

具体的な活動内容は、AJWCEFスタッフが日本では滅多に報道されることがないようなレアな野生動物保護や環境保護に関する話題を見つけ、その英文記事をボランティアの方に日本語に翻訳をお願いします。その後、AJWCEFのスタッフより翻訳文のチェックをした後にホームページへと記載いたします。

すべてメールでのやり取りとなりますのでボランティア活動に興味があるが多忙で時間の取りにくい方、英語のスキルを磨きたい方などに最適なボランティアです。



ご興味のある方はinfo@ajwcef.orgまでお問い合わせください。

# お知らせ

## 2025年よりRSPCA QLDにて第2の野生動物専門病院建設・着工が予定されています

### 第2 野生動物専門病院が完成したら...

- キーンズランド州内 野生動物の救命救急の中心センターとして稼働
  - 市民ボランティアによって救助された野生動物達の搬送場所として中心的存在に
  - トリアージ室をはじめ、診察・手術・病理・入院・隔離室のスペースを大幅に確保
  - 屋外リハビリ施設(特にコアラICU緊急治療病棟、大型有袋類の運動エリア、淡水カメや海鳥用施設、猛禽類やオウム類の大型運動施設等)の拡大
  - 餌や入院に必要なユーカリ植林エリアの確保
  - 次世代を育てる獣医師・獣医看護師の教育病院として、また地域啓発活動のため現地校や地域住民への教育プログラムの提供
- など、野生動物保護・救護の最前線で活躍する場が広がります。



AJWCEFではRSPCA第二野生動物専門病院の建設実現に向けて募金活動を行っています。皆様のご支援ご協力を何卒よろしくお願いたします。

RSPCA QLD (Royal Society for the Prevention of Cruelty to Animals, Queensland)

### 王立動物虐待防止協会 キーンズランド支部

1883年再設立(本格始動)。設立以来あらゆる動物(ペット、家畜や野生動物などを含む)の動物福祉を推進するため活動している非営利団体。主な活動内容は、動物虐待防止を促す地域への教育活動や法律の改正のための提言活動、様々な理由で飼い主を失ったペットたちに新しい家庭を探す里親活動、野生動物保護・救護、野生動物専門病院及びペット動物病院の運営。

AJWCEFトレーニングコースでも見学・研修を行っている施設です。

### 野生動物雑学ラウンジ



### File 3. RSPCA アニマルインスペクターって何をします人?

キーンズランド州内でも20人以上が在籍している**動物査察官**、**ペット、家畜動物、野生動物のための警察みたいな感じ**。動物虐待や動物福祉の懸念が報告された場合、査察官は関係者を調査し、動物福祉法に基づき起訴をおこなす権限を持っています。飼い主の許可なく私有地へ立ち入ったの調査、虐待を受けている動物の一時保護、動物虐待の証拠押さえ、動物福祉に関する通知・指示・罰金を科すことが出来るんです。

AJWCEFインスタグラム掲載 (一部内容変更) November.2022

# AJWCEF

ニュースレター発行元

オーストラリア日本野生動物保護教育財団本部事務局

発行責任者 水野 哲男

編集担当 クリス 悠子

ホームページ [www.ajwcef.org](http://www.ajwcef.org)

住所 PO Box 1362 KENMORE, QUEENSLAND, 4069, AUSTRALIA

電話 + 61 7 3195 4749

